

有光金兵衛とは誰ぞ（五訂稿）

—「田村豊氏著作目録」補遺—

（令和4（2022）年8月12日（金）現在）

〔目 次〕

| | |
|---|----|
| （補正経緯） | 1 |
| 1 田村豊著作と有光金兵衛 | 2 |
| 2 有光金兵衛著作抄 | 2 |
| 3 有光金兵衛経歴抄 | 3 |
| （追記-1）有光金兵衛氏とは誰ぞ・再論—田村 豊氏検討の関連で— | 5 |
| （追記-2）有光金兵衛大阪等関係参考資料-1 | 7 |
| （追記-3）有光金兵衛大阪等関係参考資料-2 | 8 |
| （追記-4）有光金兵衛警視庁関係参考資料 | 9 |
| （追記-5）警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷。令和元（2019）年10月1日刊）の件 | 9 |
| 【附録】明治警察史コーナーHP項目一覧（抄） | 10 |
| 【関連事項】 | 11 |

（補正経緯）

（HP初載）平成21（2009）年3月8日初稿作成
平成22（2010）年5月24日改訂稿作成
（『法制時報』所載稿の件を追加等）
平成22（2010）年5月24日再訂稿作成
平成25（2013）年11月6日（水）三訂稿作成
（（追記-1）、（追記-2）、（追記-3）を追加、その他一部補正。）
平成27（2015）年6月6日（土）四訂稿作成
（（追記-4）を追加等）

（参考）警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷。令和元（2019）年10月1日刊）中に「第2編 第3 有光金兵衛氏著作目録」（129～137頁）あり。

令和4（2022）年8月12日（金）五訂稿作成
（レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。）

1 田村豊著作と有光金兵衛

- ・田村豊（1899～1933）の著作については、本 HP 別稿「田村豊氏著作目録」（平成 19（2007）年 8 月 3 日アップ）参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/>〉

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉

- ・同氏最後の著書である下記の 2 冊は、当時病のためか有光金兵衛との共著である。しか
らば、有光金兵衛とは誰ぞ、これ多年の疑問。

* 田村豊著作（抄） 昭和 8（1933）年（田村氏：同年 11 月 25 日福岡市で逝去。）

- ・『警察罰詳論』（田村豊・有光金兵衛共著、良書普及会、昭和 8 年 9 月 22 日刊。昭和 8 年 3 月 16 日付け「序文」あり。）

（註記）：田村のこの時点の肩書：警察講習所教授・内務事務官、有光金兵衛のこの時点の肩書：前警視、法学士。有光には、『公文例規及公文例』（良書普及会、大正 10 年 7 月 11 日初版刊、昭和 5 年 7 月 20 日改訂版刊）をはじめ警察関係法令に関して多くの著作あり。

- ・『警察罰執行手続』（田村豊・有光金兵衛共著、良書普及会、昭和 8 年 9 月 23 日刊）

2 有光金兵衛著作抄（未定稿。一部を除き、現物には未だ当たっていない。）

* nacsis webcat による（重複あり。）。

- ・公文例規及公文例 / 有光金兵衛著. -- 良書普及会, 大正 8 (1919) 年
- ・現行公文例規及公文例 / 有光金兵衛著. -- 21 版. -- 良書普及会, 大正 10 (1921) 年
- ・狩獵法釋義 / 有光金兵衛著. -- 良書普及会, 大正 11 (1922) 年
- ・行政執行法論 / 加々美武夫, 有光金兵衛共著. -- 良書普及会, 大正 12 (1923) 年
- ・治安警察法論 / 川村貞四郎, 有光金兵衛共著. -- 良書普及会, 大正 12 (1923) 年
- ・治安警察法論 / 川村貞四郎, 有光金兵衛共著. -- 私製, 大正 12 (1923) 年
- ・治安警察法論 / 川村貞四郎, 有光金兵衛共著. -- 改訂版. -- 良書普及会, 大正 13 (1924) 年
- ・出版及著作に関する法令釋義 / 有光金兵衛著. -- 大同書院, 大正 15 (1926) 年
- ・行政執行法論 / 加々美武夫, 有光金兵衛著. -- 5 版. -- 良書普及会, 大正 15 (1926) 年
- ・警察法規研究 / 有光金兵衛著. -- 大同書院, 昭和 2 (1927) 年
- ・我国に於ける特別市制運動 / 有光金兵衛著. -- 大同書院, 昭和 4 (1929) 年
- ・違警罪即決例精義 / 田村吉秀, 有光金兵衛共著. -- 大同書院, 昭和 5 (1930) 年
- ・公文例規及公文例 / 有光金兵衛著. -- 改訂版. -- 良書普及会, 昭和 5 (1930) 年
- ・8 警察犯処罰令精義 / 有光金兵衛著 ; 下巻. -- 大同書院, 昭和 5 (1930) 年
- ・出版及著作に関する法令釋義 / 有光金兵衛著. -- 増訂版. -- 大同書院, 昭和 6 (1931) 年
- ・警察犯處罰令精義 : 判例註釋 / 有光金兵衛著. -- 公立社, 昭和 6 (1931) 年

- ・警察罰執行手続 / 田村豊, 有光金兵衛共著. -- 良書普及会, 昭和 8 (1933) 年
- ・警察罰詳論 / 田村豊, 有光金兵衛共著. -- 良書普及会, 昭和 8 (1933) 年
- ・行政執行法詳論 / 有松昇, 有光金兵衛著. -- 良書普及会, 昭和 12 (1937) 年
- ・公文例規及公文例 / 有光金兵衛著. -- 改訂版. -- 良書普及会, 昭和 19 (1944) 年

* 国立公文書館デジタルアーカイブ・システム

- ・改訂公文例規及公文例 / 有光金兵衛著. -- 良書普及会, 昭和 13 (1938) 年

* 『法制時報』 収載稿 (平成 22 年 5 月 24 日追加)

- ・有光金兵衛 (第 6 巻第 1、2 号では警視庁属 ⇒ 第 6 巻第 8 号以降は警視庁警部) 「形式之研究」(同誌の附録的形式、頁数は通し頁の形。) ⇒ 上記『公文例規及公文例』の基になったものか? (未確認)

第 6 巻第 1 号 (大正 5 年 1 月 20 日刊) 1~2 頁、第 6 巻第 2 号 (大正 5 年 2 月 20 日刊) 3~6 頁、第 6 巻第 3 号 (大正 5 年 3 月 20 日刊) 7~10 頁、第 6 巻第 4 号 (大正 5 年 4 月 15 日刊) 11~14 頁、第 6 巻第 5 号 (大正 5 年 5 月 15 日刊) 15~18 頁、第 6 巻第 6 号 (大正 5 年 6 月 15 日刊) 19~22 頁、第 6 巻第 7 号 (大正 5 年 7 月 20 日刊) 23~26 頁、第 6 巻第 8 号 (大正 5 年 8 月 20 日刊) 27~30 頁、第 6 巻第 9 号 (大正 5 年 9 月 20 日刊) (掲載なし。)、第 6 巻第 10 号 (大正 5 年 10 月 20 日刊) 31~34 頁、第 6 巻第 11 号 (大正 5 年 11 月 20 日刊) (欠号のため未見。おそらく 35~38 頁)、第 6 巻第 12 号 (大正 5 年 12 月 20 日刊) 39~42 頁 (連載終了。完結か否かは不明。)

(参考) (平成 27 年 6 月 6 日追加)

- ・本 HP 別稿「『法制時報』とは何ぞ — 法制時報社、南郊社社長小池則之とは誰ぞ —」
(<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf>) 参照。

* 「日本の古本屋」 (平成 21 年 3 月 8 日閲覧、同 22 年 5 月 24 日再閲覧)

- ・大阪特別市制案ノ綱要 / 有光金兵衛著. -- 大阪都市協会, 大正 15 (1926) 年 (A5 10p ISBN、文生書院、2,100 円)

* (復刻本)

- ・出版及著作に関する法令釈義 / [有光金兵衛著]. 出版警察法大要 / [土屋正三著]. 新聞紙法制 / [山根眞治郎著]. -- 日本図書センター, 平成 3 (1991) 年. -- (言論統制文献資料集成 / 奥平康弘監修 ; 第 2 巻)

3 有光金兵衛経歴抄

- ・上記『法制時報』連載の有光金兵衛「形式之研究」(同誌の附録的形式、頁数は通し頁の形。) 中には、第 6 巻第 1、2 号 (大正 5 年 1、2 月 20 日刊) では警視庁属、第 6 巻第 8 号 (大正 5 年 8 月 20 日刊) 以降は警視庁警部とある。(平成 22 年 5 月 24 日追加)

- ・有光金兵衛 (大阪朝日橋署長) 「集会と屋外運動」『自警』 (第 4 巻) 通巻第 37 号 (大

正 11 (1922) 年 8 月 10 日刊) 22~24 頁

同稿冒頭：「貴会既に三週年とは今昔の感に堪へず吾人の雑誌委員たりし当時を回顧し諸感交々胸に迫るものなきに非ざるも倉卒の際之れを取纏むるの余暇なきを以て標記の件に関し吾人の取締上に関する疑問を披瀝し警察諸兄の叱正を乞はんと欲す。」

⇒同稿では、その数年前に警視庁で『自警』の雑誌委員をしていたとある。『自警』創刊は、大正 8 (1919) 年 8 月であるから、その頃は警視庁に勤務。(平成 22 年 5 月 24 日一部修正)

⇒ (参考 1) (以下平成 25 年 11 月 6 日追加)

・『職員録』記載事項では、次のことが判明する。

『職員録 大正八年七月一日現在』755 頁「警視庁官房主事 警部」

『職員録 大正九年七月一日現在』893 頁「大阪府警察部 警部」

『職員録 大正十年七月一日現在』968 頁「高津警察署 警部 署長」

『職員録 大正十一年七月一日現在』912 頁「朝日橋警察署 警視 署長」

⇒ (参考 2) (以下平成 27 年 6 月 6 日追加)

後掲「(追記-4) 有光金兵衛警視庁関係参考資料」参照。

・国立公文書館デジタルアーカイブ・システム

〈http://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/MetaOutServlet?GRP_ID=&DB_ID=G9100001EXTERNAL&IS_STYLE=default&IS_TYPE=meta&XSLT_NAME=MetaSearchSimpleFrame.xsl&ID=&act=meta&DEF_XSL=default〉

「大阪府警視有光金兵衛免官ノ件」(内閣 大正 12 年 2 月 26 日)

・『大大阪』第 1 巻第 1 号(大阪市都市協会、大正 14 年 12 月刊)～第 20 巻第 1 号(昭和 19 年 1 月刊)(未見)。

ハワイ大学校ハミルトン・ライブラリー「梶山文庫」所蔵の『大大阪』第 4 巻第 7~9、11 号(昭和 3 年刊)は、同誌刊行者を「有光金兵衛」とする。⇒大阪府警視を退官してから大阪市都市協会に勤務か???

〈<http://www.hawaii.edu/asiaref/japan/special/kajiyamageneral/date/s1928a.htm>〉

[大阪市都市協会] :

〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E9%98%AA%E9%83%BD%E5%B8%82%E5%8D%94%E4%BC%9A>〉

・『警察協会雑誌』には、執筆なし。『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』第 125 巻、第 126 巻(各警察編)(大空社、平成 9 (1997) 年 5 月 26 日刊)掲載分及びその欠号目次補充コピーで確認。

(追記-1) (平成 25 年 11 月 6 日追加)

有光金兵衛氏とは誰ぞ・再論—田村豊氏検討の関連で—

[目 次]

- (1) 今次判明事項一斑 ……………5
- (2) 田村豊氏著作と有光金兵衛氏 ……………6
- (3) 有光金兵衛氏著作抄 ……………7
- (4) 有光金兵衛氏経歴抄 ……………7

平成 25 (2013) 年 9 月 28 日 (土) 時点で判明したことは、次のとおりである。

(1) 今次判明事項一斑

明治警察史研究といえば、もとより、高橋雄豺博士 (1889～1979)、中原英典氏 (1915～1979) であるが、田村豊氏 (1899～1933) の御業績も忘れてはならない。下記別稿「田村豊氏著作目録」からして、もしも氏が早世されなければ、此の分野でも更に多大の御貢献をされたことはたしかであり、まことに残念なことである。本平成 25 (2013) 年 8 月、たまたまヤフオクで氏の『警察史研究』(良書普及会、昭和 7 年 2 月 25 日刊) が出品されたので、同書を知って早四十年になるというのに、今頃大枚ならぬ「小枚」をはたいて購入した。その関連で、「有光金兵衛」氏をもヤフオク (<<http://auctions.yahoo.co.jp/>>) で検索したところ、『資料 昭和 10 年京都帝国大学楽友会会員名簿追録 特約店広告』なるものが出品 (同年 8 月 26 日～9 月 1 日分) されており、その掲載情報写真に「有光金兵衛 法 大正 15 年卒業 弁護士 大阪市東成区北生野町二丁目六二」の記載があった。「有光金兵衛」なるお名前の人士はおそらく他にはいないと思われることから、ここに登場する「有光金兵衛」は、従来より検討の「有光金兵衛」氏と推測された。なお、有光氏の京大法学部在籍については、当該期の『京都帝国大学一覽』各年版でも確認できる。

有光氏については、田村氏最後の著書である 2 冊が、当時同氏病のためか、有光金兵衛氏との共著であることから、しからば、「有光金兵衛氏とは誰ぞ」ということで関心を持ち、先に二、三調べたが、有光氏肩書の「前警視、法学士」中「法学士」の意味が不明でよくわからなかった。かつて警視庁で属官や警部をし、大阪府で警視、大阪朝日橋署長等を勤め、大正 12 (1923) 年 2 月末に退職した同氏が、その後大正 15 (1926) 年に京大法科を出て弁護士になられていたことが、今回判明したわけである。ただ、いつ弁護士になられたかとか、受験が高文司法科か所謂法律 52 号試験によるものかとかは、未だ不明である。

ちなみに、『大阪府弁護士史稿 上』(大阪弁護士会事務所、昭和 12 年 7 月 20 日刊) 第 12 章 名簿 1162 頁によれば、昭和 10 年 6 月 1 日現在大阪地方裁判所所属弁護士の一人として、同氏のお名前が出ている。また、日本弁護士会『日本弁護士名簿』(日本弁護士会) では、昭和 9 年 8 月 1 日現在版で同氏のお名前が確認できる (182 頁、近代デジタ

ルライブラリー」〈<http://kindai.ndl.go.jp/>〉では 94 齣。同氏は高知県出身。)。しかし、同名簿の昭和 14 年 8 月 1 日現在版には記載されておらず、その時点では御廃業、もしくは御逝去かとも思われる。なお、『会員写真帖』（大阪弁護士会事務所、昭和 15 年 12 月 25 日刊）では、今回見ることができた「近代デジタルライブラリー」所蔵書の人名記載欄が不鮮明なことで確認できず（「あ」欄写真：181～191 齣参照。）、目下調査中である。

いずれにしても、これらからして、同氏は昭和戦前期時点では大阪で弁護士として活躍されておられたと思われ、今後更なる事実の判明が期待される場所である。以下、参考までに一部改訂の上再録（抄録）しておく。

(2) 田村豊氏著作と有光金兵衛氏

・田村豊氏（1899～1933）の著作については、別稿「田村豊氏著作目録」（平成 19（2007）年 8 月 3 日作成、平成 22（2010）年 4 月 7 日補正六次稿作成）参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf#search=%E7%94%B0%E6%9D%91%E8%B1%8A+%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%8F%B2>〉

・同氏最後の著書である下記の 2 冊は、当時病のためか、有光金兵衛氏との共著である。しからば、有光金兵衛氏とは誰ぞ、これ多年の疑問。

* 田村豊氏著作（抄）昭和 8（1933）年（田村氏：同年 11 月 25 日福岡市で逝去。）

・『警察罰詳論』（田村豊・有光金兵衛共著、良書普及会、昭和 8 年 9 月 22 日刊。昭和 8 年 3 月 16 日付け「序文」あり。）

（註記）：田村氏のこの時点の肩書：警察講習所教授・内務事務官、有光金兵衛のこの時点の肩書：前警視、法学士。有光氏には、『公文例規及公文例』（良書普及会、大正 10 年 7 月 11 日初版刊、昭和 5 年 7 月 20 日改訂版刊）をはじめ警察関係法令に関して多くの著作あり。 ・『警察罰執行手続』（田村豊・有光金兵衛共著、良書普及会、昭和 8 年 9 月 23 日刊）

(3) 有光金兵衛氏著作抄（未定稿。一部を除き、現物には未だ当たっていない。）

（本稿本論部分と重複のため省略。ただし、下記部分のみ重複再掲）

・国立公文書館デジタルアーカイブ・システム

〈<http://www.digital.archives.go.jp/>〉

〈http://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/MetaOutServlet?GRP_ID=&DB_ID=G9100001EXTERNAL&IS_STYLE=default&IS_TYPE=meta&XSLT_NAME=MetaSearchSimpleFrame.xml&ID=&act=meta&DEF_XSL=default〉

「大阪府警視有光金兵衛免官ノ件」（内閣 大正 12 年 2 月 26 日）（註：以前には検索できしも、平成 25 年 9 月 12 日現在では何故か検索できず。）

・『大大阪』第 1 巻第 1 号（大阪市都市協会、大正 14 年 12 月刊）～第 20 巻第 1 号（昭和 19 年 1 月刊）（未見）。

ハワイ大学校ハミルトン・ライブラリー「梶山文庫」所蔵の『大大阪』第4巻
第7～9、11号（昭和3年刊）は、同誌刊行者を「有光金兵衛」とする。⇒大阪府警視を
退官してから、〔京大在学中に〕大阪市都市協会にも関係か??。

〈 <http://www.hawaii.edu/asiaref/japan/special/kajiyamageneral/date/s1928a.htm> 〉

〔大阪市都市協会〕：大正14（1925）年10月21日～平成19（2007）年3月31日 ⇒月
刊誌『大大阪』創刊

〈 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E9%98%AA%E9%83%BD%E5%B8%82%E5%8D%94%E4%BC%9A> 〉

（4）有光金兵衛氏経歴抄

（本稿本論部分と重複のため省略。）

（追記-2）有光金兵衛大阪等関係参考資料-1（平成25年11月6日追加）

次いで、平成25年10月5日さる識者より下記の教示を受けた。厚く御礼申し上げるもの
である。

①『会員写真帖』（大阪弁護士会事務所、昭和15年12月25日刊）については、目下調査中。

②有光金兵衛関係文献については、例えば下記の文献がある。

・『大阪府職員録大正10年7月20日現在』（大阪府総務部人事課編集 大阪府庁1921） 86
頁に「高津警察署 署長」として有光金兵衛の名前がある。

・『大阪府職員録大正11年12月10日現在』（大阪府総務部人事課編集 大阪府庁1922） 97
頁に「朝日橋警察署 署長」として有光金兵衛の名前がある。

・大正5年8月1日現在、大正6年、大正7年度、大正12年12月10日現在、大正14年2月10日
現在の『大阪府職員録』には有光金兵衛の名前はなし。

・朝日新聞データベース「聞蔵」で、キーワード「有光金兵衛」、「大阪都市協会」で検
索するも、共に有光金兵衛のプロフィールに関する記事はなし。

・国立国会図書館デジタル化資料の官報（明治16（1883）年7月2日の創刊号から昭和27
（1952）年4月30日まで）を検索するも、有光金兵衛の名前ではヒットせず。

・次の資料を調査するも、いずれも有光金兵衛についての記載はなし。

『人事調査録』昭和10年、昭和13年

『大阪人名資料事典』

『明治大正昭和 大阪人名録』

『人事興信録 第10版-1』（興信データ 1934）

『日本紳士録』昭和11年、昭和12年

『京阪神職業別電話名簿』昭和11年

『大阪市東成区紳士録』（東成日報社 1936.7）

『大阪府市名誉職大鑑』第1-3編（自治名誉職協会 1934-1936）

『大阪市東成区歴代方面委員・民生委員・児童委員名簿』（大阪市東成区民生委員協議会編、大阪市東成区民生委員協議会 1988.6）

『新修大阪市史』『明治大正大阪市史』人名索引の項目に「有光金兵衛」はなし。「大大阪都市協会」の記載個所に有光金兵衛の名前はなし。

（追記-3）有光金兵衛大阪等関係参考資料-2（平成 25 年 11 月 6 日追加）

同じく、平成25年10月5日別の識者より下記の教示を受けた。厚く御礼申し上げるものである。

・大阪都市協会:

〈 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E9%98%AA%E9%83%BD%E5%B8%82%E5%8D%94%E4%BC%9A>〉

・大大阪時代:

〈 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E5%A4%A7%E9%98%AA%E6%99%82%E4%BB%A3>〉

・『大阪都市協会 80 年史』（大阪都市協会編集、大阪都市協会、2006.3）22 頁に、「大阪都市協会スタート時の職員（嘱託）として記載あり。」、他に「大阪府警視を務めた人で、大正十五年に協会理事となった。」とも記載あり。

・『大阪都市協会 70 年史』は未見。

・雑誌『大大阪』第 1 巻第 1 号（大正 14 年 12 月刊）～第 5 巻第 8 号までの奥付に発行兼編集人として記載あり。

・『大大阪』第 5 巻第 9 号 131 頁に「有光常務理事辞任」の記事あり。同記事では大正 14 年以来同協会常務理事となっているが、第 3 巻第 1 号までは役員としての記載は確認できず。

・『大大阪』第 3 巻第 1 号 140 頁に同協会役員に理事として記載あり。

・『大大阪』掲載論文は次の如し。

第 3 巻第 9 号 99～104 頁「市参与の話」

第 4 巻第 10 号 119～129 頁「煤煙防止調査委員会の経過」（該当号には氏名記載なしも、分類目次にあり。）

第 5 巻第 2 号 60～70 頁「大阪市に於ける特別市制運動（1）」

第 5 巻第 4 号 24～36 頁「大阪市に於ける特別市制運動（2）」

第 5 巻第 5 号 131～140 頁「大阪市に於ける特別市制運動（3）」

第 5 巻第 6 号 8～21 頁「大阪市に於ける特別市制運動（4）」

・『大阪弁護士史稿』??（上）680 頁に昭和 10 年 8 月 1 日現在の一水会会員としての記載あり。

・『職員録』記載事項、次のとおり。

『職員録 大正八年七月一日現在』755 頁「警視庁官房主事 警部」

『職員録 大正九年七月一日現在』893頁「大阪府警察部 警部」
『職員録 大正十年七月一日現在』968頁「高津警察署 警部 署長」
『職員録 大正十一年七月一日現在』912頁「朝日橋警察署 警視 署長」
その他の人名録等の資料からは見つからず。

(追記-4) 有光金兵衛警視庁関係参考資料 (平成 27 年 6 月 6 日追加)

- * 『自警』第 20 卷第 8 号 創刊二十年記念、昭和 13 年 8 月 1 日刊)
 - ・ やなぎ生「創刊以来現在まで廿年間の自警要覧」68～71 頁 (68～69 頁「図書部委員」に「有光金兵衛」の氏名あり。)
 - ・ 自警会主事渡部源治「本誌創刊当時と現在の状況」138～139 頁に創刊時の雑誌部委員の氏名が掲載されており、「特高課員有光金兵衛」とある (138 頁)。

(追記-5) 警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄一川路大警視検討を中心に一』(警察政策学会資料・別刷。令和元 (2019) 年 10 月 1 日刊) の件

同書中に「第 2 編 第 3 有光金兵衛氏著作目録」(129～137 頁) あり。

(令和 4 (2022) 年 8 月 12 日 (金) 追記)

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 12 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉
- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」

- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>〉
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>〉
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>〉
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』 検討一斑—明治警察史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>〉
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>〉
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf>〉
- ・「高橋雄豺博士著作目録（再訂稿）」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉
- ・「田村豊氏著作目録」（本稿）
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>〉
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

【関連事項】（令和4年8月11日追加）

- ・法制史学会： 〈<https://www.jalha.org/>〉
 - ・国立国会図書館： 〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
 - ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
 - ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
- 〈[https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital transmission/individuals index.html](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital%20transmission/individuals%20index.html)〉
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）
- 〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉
- ・CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii ArticlesのCiNii Researchへの統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

（了）